

次の世代に引継ぎたい大切な宝物「北海道遺産」フォトコンテスト。昨年にも増して、四季折々の表情、また感性豊かな作品を老若男女問わず数多くお寄せいただきました。ご応募いただきました方々へ、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。入賞・入選されました素晴らしい作品を、ぜひご覧ください。

講評 ～ フォトグラファー 岸本 日出雄 氏

やっとコロナ禍が終焉し、皆さん撮影に出かける機会が増えたことと推察しています。そのせいか今回は応募作品のレベルが以前より上がり、優れた作品が多く審査に苦勞致しました。

ただテーマである遺産指定の中で、絵になりやすい場所に偏りすぎていた点は少々残念に思いました。いわゆるよく見かける写真が多数ありましたが、表現のテクニック、視点のユニークさなどに主点を置いて選ばせてもらいました。おなじみの場所を取り上げてもし撮影者の意図がきちんと反映できていると作品の出来はぐんと違ってきますし、見せるために工夫が加えられていると作品としての完成度が高くなります。よく見る被写体をよりよく見せる工夫、努力が必要です。それが鑑賞者の「心を動かす力」となると思います。



北海道遺産フォトコンテスト
イメージキャラクター
「ハリス」



あなたが伝えたい北海道遺産を、感じたままに撮ってみよう！
北海道遺産フォトコンテスト2023
入賞・入選作品発表 作品テーマ「あなたが伝えたい北海道遺産」



■主催：NPO法人 北海道遺産協議会 ■後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社



二福神の夜
【撮影/余市町白岩町 2019年9月】
準グランプリ 積丹半島と神威岬
●指田 丈二 様(茨城県日立市)

【撮影者コメント】
昼間にロケハンを済ませて、夜に星空コラボと夜明けのシーンを撮影しました。とても不思議な岩の名前がとても縁起が良く、良い一日になると確信した夜明け前でした。



【岸本 日出雄 氏 講評】
積丹領域にある海に突き出た二つの岩はカメラ愛好家にとって格好の被写体となっていますが、昼とは全く違う幻想的なシーンとして捉えた一点です。長秒シャッターで波が消えた静謐な海面は二つの岩をより神がかりなものとして見せる効果を生んでいます。奥の薄紅色もさりげなく華やかさを添えていて見事。

森の中に
【撮影/土幌線五の沢橋梁跡 2022年6月】
準グランプリ 旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群
●菊田 倫太郎 様(札幌市)

【撮影者コメント】
森の中に一つだけ小さなコンクリートアーチ橋が苔を付けたら佇んでいる姿が愛らしい場所です。



【岸本 日出雄 氏 講評】
静かな森の中に歴史の生き証人としてひっそりと残るアーチ。旧国鉄土幌線のコンクリート製のアーチ橋梁が実にいいアングルで捉えられています。左側のどっしりとした巨木、まるで眺めたように横たわる枯れた樹木など構図の取り方がとてもいい。朽ちていく人工物と巨木、若葉色に映える奥の木々、そのコントラストがこの写真の重みを増幅させて見せています。



真夏の朝日差し込む農場 [撮影/札幌農学校第2農場 2023年7月]
グランプリ 北海道大学札幌農学校第2農場
●新村 本広 様(札幌市)
【撮影者コメント】この日は、早朝から穏やかな天候で綺麗な朝日が差し込み、重厚な建物が輝いていました。



【岸本 日出雄 氏 講評】
北大札幌農学校第2農場、構図も撮影の時間帯もしっかり計算して絵作りしていることが伝わってくる作品です。両脇に配した建物も手前の生き生きとした草の緑も中央の歴史的な建造物の持つ独特な雰囲気を感じています。真夏の朝早い夜明け、日の昇る位置も計算できていて感心します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

北海道遺産とSDGsのつながり

SDGsとは、国連が定める2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標です。北海道遺産として、豊かな自然・文化・歴史を伝え、保全していく事は、3つのSDGsの目標につながっていくと考えます。

- 8. 働きがいも経済成長も
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任、つかう責任

サポーター募集中!! 北海道遺産協議会では、北海道 遺産の取り組みを応援して下さるサポーターを募集しております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

特典		
会員証	情報紙 (年3回程度)	年度特典 (2023年度は) トートバッグ
メールニュース等の情報発信	HP、情報誌などへの法人・団体名、個人名(希望者)の掲載	

スペシャル特典
★初年度に限り「ほっかいどう遺産WAON」と、「ピンバッジ」プレゼント

ピンバッジ

▶詳しくはお問合せください。
NPO法人北海道遺産協議会事務局
〒060-0041 札幌市中央区大通東 2丁目3-1 第36桂和ビル7階
TEL: 011-218-2858 FAX: 011-232-4918
Email: info@hokkaidoisan.org
<http://www.hokkaidoisan.org/supporter.html>



夜桜を駆ける【撮影/丸瀬布森林公園いこいの森 2022年5月】
森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」

●安立 直也 様(佐呂間町)
【撮影者コメント】
年に一度のチャンス、夜桜撮影会で撮影した雨宮21号です。蒸気機関車が夜桜を駆け抜ける風景は滅多に見られない貴重な体験でした。



冬のサッポロビール博物館【撮影/札幌市 サッポロビール博物館 2018年12月】
札幌苗穂地区の工場・記念館群

●高岡 文子 様(札幌市)
【撮影者コメント】
雪の中に佇む夜のサッポロビール博物館を、仕込み釜越しに歴史と産業の重みを感じるように表現してみました。



宗谷丘陵の周氷河地形【撮影/宗谷 2023年9月】
宗谷丘陵の周氷河地形

●花島 薫 様(札幌市)
【撮影者コメント】
朝陽が昇り宗谷丘陵の稜線に明暗が出来、異国の様な景色が広がって居ました。紅葉の時期も訪れたくなりました。



星まわる橋梁【撮影/上土幌町 2022年3月】
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群

●田澤 康史 様(奈井江町)
【撮影者コメント】
半月の月明かりにタウシュベツ橋梁を撮ってみました。約40分間の長時間露光です。



歴史の証人【撮影/稚内港北防波堤ドーム 2022年8月】
稚内港北防波堤ドーム

●佐々木 一樹 様(恵庭市)
【撮影者コメント】
これからも光を照らす場所であって欲しい、そして波風に負けず、宗谷に活きる人々の支えであって欲しいと思います。



雪原の躍動【撮影/音更町 家畜改良センター十勝牧場 2023年2月】
北海道の馬文化(ばん馬、日高のサラブレッド、北海道和種馬など)

●今森 賛 様(芽室町)
【撮影者コメント】
降雪の翌日の馬追い運動。舞い上がる雪煙の中から地鳴りのように力強い足音を立て、馬たちが迫り来る姿に感動しました。



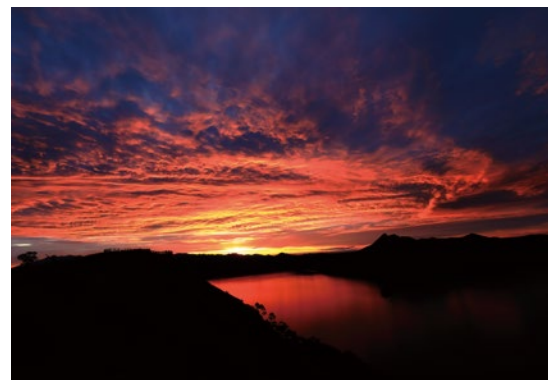
夕陽と開陽丸【撮影/江差町鶴島付近 2019年2月】
五稜郭と箱館戦争の遺構

●佐藤 靖 様(札幌市)
【撮影者コメント】
夕陽と開陽丸のシルエットを撮ってみました。



天塩川【撮影/幌延町 2022年12月】
天塩川

●林 真之介 様(名寄市)
【撮影者コメント】
天塩川が完全結氷する前になります。手前は宗谷本線で、ラッセル車が通過しています。



天空の夜明け【撮影/摩周湖 2022年8月】
摩周湖

●江崎 絹枝 様(江別市)
【撮影者コメント】
黒雲に覆われた空が突然、奇跡の朝焼けが始まりドラマチックな天使の舞踏会が始まりました。



京極の湧水【撮影/京極町 2020年8月】
京極のふきだし湧水

●長友 逸郎 様(札幌市)
【撮影者コメント】
朝5時、少しガスがかかり、薄暗い中絞ってスローシャッターで撮りました。



初夏、宵の切羽跡【撮影/札幌市 石山緑地 2023年5月】
札幌軟石

●山内 佳子 様(札幌市)
【撮影者コメント】
公園の灯に照らし出された札幌軟石の切羽跡。緑とつじの花に縁どられるこの季節の宵に見る切羽跡の陰影は、とても趣深いです。



野付半島の夕景【撮影/別海町野付 2023年3月】
野付半島と打瀬舟

●釜澤 まつみ 様(札幌市)
【撮影者コメント】
凍てつく冬の日、夕日に染まる雪原とエゾシカに癒されました。



ライトアップされたビール工場【撮影/札幌市東区 サッポロビール第2工場 2022年12月】
札幌苗穂地区の工場・記念館群

●上村 修司 様(札幌市)
【撮影者コメント】
ライトアップされたサッポロビール博物館(サッポロビール第2工場)です。前景にビール煮沸釜を入れ、ビール園らしさを出してみました。



厳冬の摩周湖【撮影/摩周湖第二展望台付近 2021年3月】
摩周湖

●箆井 敦子 様(釧路市)
【撮影者コメント】
屈斜路湖での撮影の帰路、山が白く輝いているので摩周湖に行ってみたら樹氷が朝日に照らされ美しく輝いていました。スノーシューに履き替え、解けないでねと唱えながら急いでカムイッシュの見える所まで行って撮影しました。



夕暮れ色に染まる【撮影/上土幌町・タウシュベツ川橋梁 2019年1月】
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群

●佐々木 郁太郎 様(札幌市)
【撮影者コメント】
オレンジ色に空が赤く染まった。雪原もほのかに赤く染まり、静寂の世界の中、撮影した。